

令和五年度 奈良県知事賞

命を助けるドクターヘリと税金

大淀中学校 一年 水本 大輔

税金は、私たちが住む街の整備や生活のために使われていることを学んだことがあります。今まで深く考えたことはありませんでした。そこで、税について考える中で、生活で一番大切な命を守ることに税金が使われていることを知りました。

私の父は、ドクターヘリに搭乗するフライトナースの仕事をしています。ドクターヘリは、怪我や病気をした人のもとに医者や看護師が一刻も早くかけつけてその命を助けるために活躍しています。ある時、私はドクターヘリにかかる費用について聞いたことがあります。ドクターヘリには多額の費用がかかることを想像していました。その費用は、病院が負担していると思っていました。しかし、その費用は税金が使われていると知りました。ドクターヘリ機あたりの運航経費は年間約二億円で、この費用は都道府県が半分負担し、残りの半分は国が負担しているということでした。ドクターヘリは全国に五十三機配備されているため、約百六億円が必要になります。運営費の内訳は、機体賃借料、パイロット等の拘束料、燃料費、保守料、航空保険料などで、搬送する患者さんと搭乗するスタッフの安全が保障されています。そして、ドクターヘリが出勤して患者さんの診察を行って搬送するためには、離着陸を支援する消防車と患者さんを搬送するための救急車が必要になります。救急車一回あたりの出動には約四万五千円が必要になり、この金額もすべて自治体が負担しているということでした。そして、ドクターヘリが着陸する場所は、主に学校のグラウンドや公共のグラウンド、防災ヘリポートを借りているため、整備のためにも税金が使われています。ドクターヘリは年間約五百件出動するため、消防車と救急車の費用を含めると一回の出動あたり、約五十万円の費用が必要になります。患者さんが搬送中に治療を受けた医療費は国民健康保険などの範囲内で負担する必要はありますが、ドクターヘリは、救急車と同じように患者さんの費用の負担はないということでした。海外では、ドクターヘリや救急車の利用にかかる料金を支払う国がある中で、日本のように無料で利用できる国は世界的にみても珍しいということを知りました。ドクターヘリが要請される患者さんの年齢制限はなく、国民の命を助けるために税金が使われていることを学びました。

このように税金によって人の命が助けられています。この日本の税金の仕組みは素晴らしいものであると思い、税金の大切さを改めて実感しました。税金を納める歳になったらしっかりと納めたいです。